

## 36. 当科における上部消化管出血の臨床的検討

内科学 (消化器)

鈴木真琴、鈴木保永、山岸秀嗣、前田光徳、岡田瑠理子、西福康之、吉竹直人、松浦晃、藤井陽一朗、米倉悦子、石川潤、須藤康司、中野道子、三橋孝宏、笹井貴子、菅家一成、島田忠人、平石秀幸、寺野彰

目的：当科における上部消化管出血症例の臨床的検討を行った。

対象：上部消化管出血にて内視鏡検査を施行された 344 例につき、原因疾患、患者背景、治療などの項目を検討した。

結果：当科の上部消化管出血患者の約 20%が静脈瘤性出血であり、胃静脈瘤からの出血は内視鏡的止血が困難であった。非静脈瘤性出血の大半は消化性潰瘍によるもので、*Helicobacter pylori* 感染、NSAIDs、抗凝固剤などの影響が認められた。症例の約 50%が基礎疾患を有しており、36%は出血傾向を有していた。以上の結果より、胃静脈瘤に対しては IVR を含めた出血予防治療が重要と考えられる。また重篤な基礎疾患を有する患者、特に出血傾向のある患者や抗凝固剤・NSAIDs 投与患者に対しては消化管出血合併の危険性を念頭に置き診療にあたる必要があると考えられる。

## 37. 慢性肝疾患に合併した糖尿病に対する late evening snack の効果

越谷病院消化器内科

高橋純子、鈴木耆知、鈴木一義、市村博紀、岡 茂樹、高田 洋、桑山 肇

目的：慢性肝疾患に合併した糖尿病に対する LES(late evening snack)の臨床的効果について検討した。

対象・方法：慢性肝疾患患者 48 名を対象として、血糖日内変動、インスリン分泌能について LES 導入前、LES 導入後について検討した。LES は総カロリーの内の約 200kcal を就寝前に摂食させた。

結果：血糖値 200mg/dl 以上の症例は約 50%にみられた。最高血糖値 200mg/dl 以上の症例では LES 導入後に平均血糖値、最高血糖値ともに有意に低下した。インスリン分泌には有意差は認められなかったが LES 前に比較して LES 後で低下する傾向がみられた。LES は糖尿病合併慢性肝疾患患者に行うべき栄養治療法の 1つであると考えられた。